

「支援者」としての人材ビジネス

高齢者雇用・障がい者雇用・外国人雇用
育児女性雇用・フリーター雇用

社会貢献のキーワードから探る
派遣・紹介の「もうひとつの役割」レポート 伊藤秀範

第三十八回 留学生の「就活力」を引き上げる！ ASIA Linkの「外国人留学生」人材紹介 後編

留学生に特化した人材紹介を行うASIA Link。その真骨頂は「売れる人材」に依存しない「人材（留学生）の底上げ」にある。後編では同社が非営利で行う、ある交流イベントの事例から、留学生教育におけるエージェントの働きかけの意義にスポットを当てたい。

非営利イベントを始めた理由

創業以来、登録者である留学生を対象とした採用イベントにも注力しているASIA Link。オフィスの壁一面には、これまでに開催してきた多くのイベント告知ポスターも掲示されている。

中でも一際目を引くのは「ASIA Link Cafe」のポスター群。過去14回（今年3月末時点）開催の定期イベントであり、「留学生×社会人 交流イベント」「留学生グループワークオリピック」「相手を知る。本音で語る。未来を創る。」など、毎回、趣向を凝らしたテーマを設けている。同社の人材紹介事業ともリンクする「社長LIVE」（本誌5月号参照）と大きく異なるのは、こちらは完全な非営利イベントである点だ。

企画・運営を行うのは、同社の人材紹介に登録している外国人留学生の有志ボランティア。イベントには毎回、15〜20人の留学生が自ら手を挙げて参加する。ASIA

ASIA Linkはあくまでもイベント会場の確保などの裏方業務に徹している。代表の小野朋江氏（以下、小野氏）は「会場も大学などから無料で提供してもらっています。出費は移動のための交通費とお茶菓子程度です」と笑う。

非営利イベントを始めた理由について、小野氏は次のように語る。「ASIA Link Cafeは留学生の育成を目的としたイベントです。日本の会社は、多くの留学生から見れば母国とは異なる習慣や文化のある組織にも映ります。イベントでは元留学生あるいは日本人の社会人も参加してもらい、彼らとの交流を通じて、留学生が学生のうちから日本の社会や会社組織の理解を深め、自信をもって就活に臨んで欲しいと思っています」。

純粋な交流イベントであり、いわゆる「青天買い」を念頭に置いたものではないが、毎回参加する社会人の中には企業の人事担当者の姿も。「留学生の考え方に直に触れられ、勉強になる」と、意識の高い留学生との出会いに積極的だ。

磨けば光る人材

もちろんASIA Link Cafeの開催は、そうした意識の高い留学生を自社の人材紹介の登録者につなげるという観点から、



留学生と社会人の交流イベント「ASIA Link Cafe」とそのチャラシ。チャラシは企画・運営スタッフの留学生が自ら作成する

留学生・社会人の交流イベント
ASIA Link Cafe vol.10 開催！
「グローバル人材」とは？

日時：5月31日（金）18:30〜21:00（18時開場）
会場：嘉悦大学 新館3階303号室（〒100-8355 東京都千代田区千代田1-10-3）
対象：外国人留学生、社会人（フリーターを含む）

プログラム
① 外国人留学生についてのお話（フリーターを含む）
② 外国人留学生と社会人との交流イベント
③ 外国人留学生と社会人との交流イベント
④ 外国人留学生と社会人との交流イベント

ASIA Link 主催
ASIA Link 後援

同社にとってもメリットはある。だが、「人材会社の経営者」としての小野氏の期待は、むしろ交流イベントを通じた「留学生人材の底上げ」だ。

近年はグローバル人材に対する企業ニーズの高まりもあり、留学生の獲得に意欲的な人材会社も少なくない。特に日系企業の現地進出が目覚ましいASEANのグローバル人材は、今や引く手あまたの売り手市場である。

「ただ、5000人の留学生がい

背中を押してあげる場

小野氏が「教育の場づくり」に強い関心を寄せるのは、氏の日本語教師時代の経験とも無縁ではないだろう。その経緯は前編（本誌5月号）に譲るが、日本での就職が叶わず、母国に帰ってしまう多くの教子を見送った経験が、小野氏の教育の場（イベント）づくりの原点になっている。そしてそれは小野氏が「留学生に特化した人材紹介」というビジネスに辿り着いた経緯ともつながる。

「一回の失敗で『やはり日本の就活は難しい』と感じてしまう留学生もいます。そのときに日本における就活のコツをちょっとレクチャーし、背中を押してあげられたら、彼らは元気を取り戻せるかもしれない。交流イベントは日本でも働く同じ留学生の仲間や社会人の先輩から、そうした元気をもたらす場でもあるのです」。



東京都小平市にあるASIA Link オフィス。今後は留学生の自社採用も目指す！

創業から2年半が経過し、現在、ASIA Linkでは小野氏以外に2人のアルバイトスタッフが活躍中だ。目下、小野氏の目標はスタッフの正社員化、そして「外国人留学生の採用」である。

「やはり自分が留学生を雇用してこそ、自信を持って企業に採用を勧められる。早くそうした余裕が持てる体制にしていきたいです。人材紹介業を始めてつくづく感じるのは、雇用をするということとは、それだけで本当は大きな社会貢献であるということ。だから、自社でもきちんと社員を雇用していきたい」。

留学生の頼れる姉御としてだけでなく、経営者としての小野氏の顔が、そこにはあった――。



交流イベントは「教育の場づくり」と小野朋江代表